

事業評価—中期計画（試案）と平成 28 年度「年次評価」（案）

めざす千葉市立郷土博物館

- 千葉氏に関する情報や千葉市の文化の特徴を明らかにし、地域の発展に役立つ拠点をめざします。
- 新たな調査・研究を提案し、その成果を発信する博物館をめざします。
- 市民・利用者が集い、千葉市を愛し、誇りとする拠りどころが得られる博物館をめざします。

中期目標（案）

- (1) 基礎的・探究的な調査研究の成果の発信
- (2) 常設展、企画展の活性化
- (3) 収蔵品の貸借、保有資産の有効利用
- (4) 教育普及の充実
- (5) ボランティア活動への支援
- (6) 施設の環境整備、環境の向上
- (7) 情報の発信と広報の充実
- (8) 文化財の管理と次世代への継承
- (9) パークマネジメントなどへの挑戦
- (10) 研究交流の実施
- (11) 運営の効率化

(1) 基礎的・探究的な調査研究の成果の発信	【中期計画の進捗状況評価】	○						
【中期計画】 (1) 博物館情報アーカイブ等、インターネットを活用した収蔵品・調査研究等に関する情報公開の充実を図る。 (2) 研究紀要、図版、市史研究雑誌（「千葉いまむかし」）等を刊行するとともに、ホームページに公開する。 (3) 「ちば市史編さんだより」を刊行するとともに、当館ホームページに公開する。								
【28年度実績】 (1) 過去の企画展の情報公開の充実を図る。 (2) 研究紀要は「千葉市の民俗調査」「絵葉書コレクション」を継続して掲載、市史研究雑誌（「千葉いまむかし」）等を刊行する。 (3) 「ちば市史編さんだより」を年2回（各回 1,000部）と号外を刊行し、関係機関、市内公共施設、来館者に提供。								
【評価】		◎						
【年次評価の根拠または課題】 ■当館の過去の企画展情報、図録のWebページで公開したことにより、調査研究の円滑な報告、非来館者への対応、来館誘発などが高まった。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学芸員の調査研究</td> <td>学芸員が各自の調査テーマを設定し、それに基づき積極的に調査を行います。（全国に広がった「千葉氏」関係史料調査、千葉県の近世牧、戦国時代の「千葉氏」等）</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>			項目	内容	評価	学芸員の調査研究	学芸員が各自の調査テーマを設定し、それに基づき積極的に調査を行います。（全国に広がった「千葉氏」関係史料調査、千葉県の近世牧、戦国時代の「千葉氏」等）	◎
項目	内容	評価						
学芸員の調査研究	学芸員が各自の調査テーマを設定し、それに基づき積極的に調査を行います。（全国に広がった「千葉氏」関係史料調査、千葉県の近世牧、戦国時代の「千葉氏」等）	◎						



主な委員意見	

(2) 常設展、企画展の活性化	【中期計画の進捗状況評価】	◎
<p>【中期計画】</p> <p>(1) 千葉氏ゆかりの資料展示を継続して行う。</p> <p>(2) 千葉市の歴史（中世から近現代）が分かる常設展示や解説シートの作成を行う。</p> <p>(3) 「展示で古文書講座」を継続して開催し、来館者に古文書の読み解きにチャレンジしてもらう。</p> <p>(4) 展示におけるICTの積極的活用、VR等の新技術の導入の検討に取り組む。</p>		
<p>【28年度実績】 ()は期間入場者</p> <p>(1) パネル展「全国に広がった千葉氏」を開催し、千葉市を始め、千葉氏ゆかりの都市の文化財等の「パネル展示」を行った。(18,871人)(6/1~9/30)</p> <p>(2) 企画展「千葉妙見大縁起の世界」を開催し、千葉妙見大縁起絵巻の原本展示、全場面の展示公開を行った。(16,049人)(8/9~12/11)</p> <p>(3) 市史ミニ企画展「展示で古文書講座」を開催し、来館者に古文書の読み解きにチャレンジしてもらった。(9,012人)(10/7~12/11)</p>		
【評価】		◎
<p>【年次評価の根拠または課題】</p> <p>■次年度企画展の年間計画を立て、テーマ設定や調査を組織的に行った。</p> <p>■総合政策局と連携し、千葉氏サミットに関する調査と関連企画展を行った。</p> <p>■千葉氏ゆかりの都市の文化財「パネル展示」は、公民館その他施設での展示も行うなど展覧事業の充実、千葉妙見大縁起絵巻は4回にわたって、場面の展示替えを行い、リピーターも1割を占めた。</p>		
小企画展の実施及び特別な企画展の実施	個々の学芸員がテーマの設定、調査、発信、公開等の小企画展を実施するとともに、特別な企画展の開催に向けては、組織的な取り組みを進めます。	○



主な委員意見	

28年度事業	企画展「千葉妙見大縁起絵巻」
内容	千葉開府 890 年を記念して、千葉氏一族の守護神「妙見菩薩」の功德を説く「千葉妙見大縁起絵巻」の全容を紹介した。 期間：8月11日から12月11日（10月18日に「原本」への展示替え） 展示資料：『紙本著色千葉妙見大縁起絵巻』ほか 20 点
自己点検	妙見信仰と千葉氏の関わりが良く分かった、貴重な絵巻を実見できて良かった等、8割以上の来館者から好評であったが、常設展示との変化があまりない、情報量が少ない等の厳しい意見もいただいた。

28年度事業	企画展「全国に広がった千葉氏」
内容	千葉常胤以降の千葉氏が全国に広がっていき、各地で発展をとげ、その後の歴史に大きく関わっていった様子を現在も残る千葉氏関連の史跡や行事などのパネルを通して紹介した。 期間：6月1日から9月30日 展示資料：パネル 16 点
自己点検	8月に開催された千葉氏サミット関連企画として、千葉氏が全国に広がったことに対する認知度を上げる効果はあった。準備期間が短く、深く掘り下げることができなかった。

28年度事業	ちば市史ミニ企画展「展示で古文書講座～古文書を読んで知る江戸時代の千葉市域～」
内容	当館寄贈・寄託の古文書及び古文書が収納されていた茶箱等を展示した。 期間：10月7日～12月11日（11月10日に展示替え） 関連企画「古文書ボランティアと一緒に古文書を読んでみよう」開催（11月12日、11月26日、12月10日） 当館の古文書ボランティアが個別指導形式で来館者と古文書を読んだ。
自己点検	市史編さん事業で収集整理した古文書、古文書が発見されてから整理されるまでの過程を紹介することができた。今後も古文書等を活用してミニ企画展を開催していきたい。

28年度事業	常設展「武器・武具」
内容	大鎧、当世具足等の甲冑類6点、来国実の太刀、打ち刀等の刀剣類 10 点、火縄銃 16 点、その他関連資料 11 点からなる武器・武具の総合的な展示を行っている。
自己点検	この分野は、子ども達の興味を引きやすいばかりか、刀剣女子など新たな客層を開拓しうる余地もあることから、この分野へのさらなる関心を惹起するうえでハンズオン資料の設置、初心者にも分かりやすい解説の工夫等が効果的と思われる。

28年度事業	常設展「猪鼻城跡の発掘調査」（古代から近世までの複合遺跡調査）
内容	千葉氏の居城とされる猪鼻城跡は、過去に数度の発掘調査が行われ、中世の城だけでなく、弥生時代から近世までの複合遺跡であることがわかっている。出土資料や写真を基にその成果を紹介した。
自己点検	通史展示が行われていない当館において、場所は限定されるが、それを補完する展示としての意味を持つ。

<p>(3) 収蔵品の貸借、保有資産の有効利用</p> <p>【中期計画】</p> <p>(1) 国内の博物館等で開催する展覧会等へ収蔵品を貸出する。</p> <p>(2) 海外の美術館・博物館等で開催する展覧会へ貸出する(海外交流展出品作品を含む)。</p> <p>(3) 講座室の利用案内を関係団体、学校に対し積極的に行う。</p> <p>(4) 閲覧室を設置し、資料調査、教材研究などに有効に活用する。</p> <p>(5) 講演・講座を開催する。</p> <p>【28年度実績】</p> <p>(1) 森美術館に2件の資料を貸出した。</p> <p>(2) ちば市民ギャラリーいなげ・袖ヶ浦市郷土博物館・千葉県立関宿城博物館・千葉県立房総のむらに資料を貸出した。</p> <p>(3) 講座室の活用その他、5F展望室で「国際落語大会」を関係団体と共催で実施した。</p> <p>(4) 千葉歴史学会・房総史料調査会といった関係団体と研究会を共催で実施した。</p> <p>(5) 学校団体の利用の際に、オリエンテーションや当該校の地域史跡の紹介などの講義を行った。</p> <p>(6) 5F展望室に「市民ギャラリー」を開設し、市民等の作品展示を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>【年次評価の根拠または課題】</p> <p>■貸出件数は減少したが、天文分野においては貸出業務を行うことができた。</p> <p>■博物館資料の相互貸借において「ファシリティ・レポート」の提供が求められるようになったが、当館のレポートは評価が低くなっており、今後の資料の借用に支障をきたす恐れがある。</p> <p>■閲覧室の設置のほか、居心地のよい閲覧スペースへの改善を図る。</p>	<p>【中期計画の進捗状況評価】</p> <p>△</p> <p>○</p>	<p>△</p> <p>○</p>
<p>図書の収集と閲覧</p>	<p>継続的に書庫内の書架、閲覧室の書架の整理に努め、平成27年度に設けた閲覧室の活用を検討します。</p>	<p>△</p>
<p>古文書講座</p>	<p>初級古文書講座、中級古文書講座の充実、上級古文書講座の開催を計画します。上級古文書講座の代わりに、「古文書ボランティアと一緒に古文書を読んでみよう」を開催した。</p>	<p>○</p>



<p>主な委員意見</p>	

(4) 教育普及の充実		【中期計画の進捗状況評価】	○
【中期計画】			
<p>(1) 体験型プログラムの充実した実施</p> <p>(2) 学校との連携事業を推進</p> <p>(3) 文化財について分かりやすく理解するためのギャラリートーク・講座・教育普及イベント等を継続して実施する。</p> <p>(4) ハンズオン資料を設置し、教育機関や福祉施設等との連携を推進する。</p> <p>(5) 資料のデータ化、デジタルアーカイブスの導入等による非来館型教育普及活動に取り組む。</p>			
【28年度実績】			
<p>(1) 体験型プログラムとして、鎧や昔の着物の着用、試着体験を行うとともに、生涯学習施設や学校などに対するアウトリーチも積極的に対応した。</p> <p>(2) 学校との連携事業を推進し、出前授業を7校で実施するとともに、来館する学校の地域の歴史を解説し、それぞれのニーズに合ったプログラムの開発を試行した。</p> <p>(3) 文化財について分かりやすく理解するためのギャラリートーク・関係講座を継続して実施した。</p> <p>(4) ハンズオン資料を設置し、教育機関や福祉施設等との連携を図るためにプログラム案内を行った。</p>			
【評価】		◎	
【年次評価の根拠または課題】			
地域との連携	地元の文化財のみならず、生活する人々とその活動すべてにかかわりを持ち、地域の学校や社会教育施設、文化団体、商業施設やマスコミなどと連携を検討します。		△
観光プロモーション等	高齢者・障害者・外国人等誰でも利用しやすい施設・設備にしていく必要があり、ユニバーサルデザインへの対応のほか、施設・設備の総合的な改修案を立案し、具体化を進めます。		×
学校や教職員との連携	学校との連携は、出張授業の実施のほか、教職員のための企画展のワークショップや博物館の利用研修、教材研究の支援を行います。		○
協働による博物館教育	教育普及についてボランティア、NPOなどの団体、技術や経験をもつ個人など多様な人材がかかわり、学芸員と協働し、質の高い博物館教育を実現します。		◎
体験プログラム	土曜日にさまざまな体験プログラム（昔の遊び体験・昔の着物や鎧の着用体験等）を実施し、必要な教育的要素を検討します。		○
学校利用	博物館の学校団体の利用は重要であるとともに、学校にとっても貴重な体験のできる効果的な教育活動として位置づけ、「博学連携」を展開します。学校による博物館のよりよい利用形態を模索します。		◎



主な委員意見	

<p>(5) ボランティア活動への支援</p> <p>【中期計画】</p> <p>(1) 館内案内、各種事業の補助活動等の充実を図る。</p> <p>(2) コミュニケーションボード等の活用や手話、聴覚障がい者への博物館案内等、視覚障がい者への点字解説などのバリアフリー活動を実施する。</p> <p>(3) 自主企画グループによる各種ガイドツアー等を実施する。</p> <p>(4) ボランティアの企画立案によるプログラムの充実を図る。</p> <p>【28年度実績】</p> <p>(1) 3F常設展示の解説だけでなく全館展示案内、各種事業の補助活動等の充実を進めた。</p> <p>(2) 視覚障がい者対応、手話やコミュニケーションボード等による聴覚障がい者への博物館案内等、バリアフリー活動を試行した。</p> <p>(3) 亥鼻公園内史跡ガイドツアー等を継続して実施した。</p> <p>(4) ボランティアの企画立案による「歴史講座指導者学習会」「解説員による『歴史講座』」などのプログラムの計画と実施。</p> <p>(5) ボランティア表彰制度の実施、千葉市社会教育功労者への推薦等、ボランティアの活動と貢献を評価する取組みを開始した。</p> <p>(6) 「古文書ボランティアと一緒に古文書を読んでみよう」を開催して、当館の古文書ボランティアが個別指導形式で来館者と古文書を読んだ。</p> <p>(7) 古文書ボランティア・新聞記事ボランティアによる史料の整理を実施した。</p> <p>【評価】</p> <p>【年次評価の根拠または課題】</p>	<p>【中期計画の進捗状況評価】</p>	<p>◎</p>
<p>史跡探訪</p>	<p>史跡、遺構、現存する建造物等を、地形的地勢的に紐解きながら、博物館職員が中心になり、これらを観光資源として探訪する「街歩き」を実施し、「観光資源を活かした新たな博物館の在り方」など博物館の新たな可能性を模索します。</p>	<p>○</p>



<p>主な委員意見</p>	

<p>(6) 施設的环境整備、観覧環境の向上</p> <p>【中期計画】</p> <p>(1) 展示場、収蔵庫の老朽化に対応するとともに、温湿度、生物生息、空気汚染への対策を速やかに実施し、保存・管理・活用のための環境を整備する。</p> <p>(2) 収蔵品の生物被害を防止するため、IPM、所蔵資料の点検活動を実施する。</p> <p>(3) 館内の施設の多言語化、ユニバーサルデザイン化を推進し、来館者等の利用に配慮した快適な観覧環境の提供を行う。</p> <p>【28年度実績】</p> <p>(1) 温湿度、収蔵品の生物被害を防止するため、IPMの対策を計画的かつ速やかに実施し、保存・管理・活用のための環境を整備した。</p> <p>(2) 3F解説の多言語化、ユニバーサルデザイン化を推進した。</p> <p>(3) 5階展望を憩いのスペースとして環境を整えた。</p> <p>【評価】</p> <p>【年次評価の根拠または課題】</p> <p>■博物館資料の相互貸借において「ファシリティ・レポート」の提供が求められるようになったが、当館のレポートは低い評価にあるという課題がある。</p> <p>■観覧者の「安全・安心」の観点から、防犯カメラの設置を順次進める（28年度は2F展示室に設置）</p> <table border="1" data-bbox="124 965 1362 1305"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調機器の調査</td> <td>夏季の館内の温湿度の定時測定を実施するとともに、空調機器のレンタル業者によるデモンストレーションを実施し、心地よさの追求をします。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ユニバーサルデザインの検討</td> <td>外国人観覧者の増加に備えて、展示解説員（ボランティア）の協力を得て英語解説表記の検討をします。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>グッズの開発 イメージの向上</td> <td>来館した児童等に「探検シート」を提供し、ぬり絵葉書や手製のかざぐるまをプレゼント、5F展望室を憩いのスペースとして環境を整えます。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	空調機器の調査	夏季の館内の温湿度の定時測定を実施するとともに、空調機器のレンタル業者によるデモンストレーションを実施し、心地よさの追求をします。	○	ユニバーサルデザインの検討	外国人観覧者の増加に備えて、展示解説員（ボランティア）の協力を得て英語解説表記の検討をします。	○	グッズの開発 イメージの向上	来館した児童等に「探検シート」を提供し、ぬり絵葉書や手製のかざぐるまをプレゼント、5F展望室を憩いのスペースとして環境を整えます。	◎	<p>【中期計画の進捗状況評価】</p> <p>△</p> <p>○</p>	<p>△</p> <p>○</p>
項目	内容	評価												
空調機器の調査	夏季の館内の温湿度の定時測定を実施するとともに、空調機器のレンタル業者によるデモンストレーションを実施し、心地よさの追求をします。	○												
ユニバーサルデザインの検討	外国人観覧者の増加に備えて、展示解説員（ボランティア）の協力を得て英語解説表記の検討をします。	○												
グッズの開発 イメージの向上	来館した児童等に「探検シート」を提供し、ぬり絵葉書や手製のかざぐるまをプレゼント、5F展望室を憩いのスペースとして環境を整えます。	◎												



主な委員意見	

(7) 情報の発信と広報の充実	【中期計画の進捗状況評価】	△												
<p>【中期計画】</p> <p>(1) 収蔵品のデジタル画像による来館者への情報提供及びウェブサイト等での公開を継続して行う。</p> <p>(2) 収蔵品の重要文化財等についてデジタル画像を継続して公開する。</p> <p>(3) 基礎資料、博物館に関する情報及び資料について広く収集し、蓄積を図る</p> <p>(4) 資料の登録や検索・利用は、活用しやすいシステムを開発する。</p>														
<p>【28年度実績】</p> <p>(1) 収蔵品、絵図などについて平成27年度から取り扱い業者と協議を継続している。平成29年度のデジタルアーカイブによる発信に見通しを立てた。</p> <p>(2) 資料の登録、検索、Webサイトでの提供のための事務が完了した。</p> <p>(3) 過去の企画展等の図録等のWebサイトでの閲覧が可能となるようにした。</p> <p>(4) 訪日外国人等に向けた先端的IoTサービスの構築を目指し、デジタルサイネージなどによるミュージアム情報等の発信やスマートフォンによる最適な移動経路情報の提供等を主な内容とするICTおもてなし実証実験に参画した。</p>														
【評価】		△												
<p>【年次評価の根拠または課題】</p> <p>■企画展アンケートでも、来館理由・きっかけがホームページによる回答が多かったことから、Webサイトのさらなる充実と情報発信機能の強化が求められる。</p> <p>■刊行物について一覧をウェブサイトで公開し、公開可能なものについては端末上での閲覧ができるための準備を進めた。</p> <p>■過去の企画展情報データの運用を開始した。</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インタラクティブな情報発信</td> <td>博物館からの一方的な情報発信だけでなく、利用者のニーズに応じた発信体制を整備する。</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>SNSの活用</td> <td>SNSの即時性と情報伝達のを生かした情報発信を進める。</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>メディア戦略の構築</td> <td>庁内外の様々なメディアによる効果等を分析し、戦略的な情報発信を行う。</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	インタラクティブな情報発信	博物館からの一方的な情報発信だけでなく、利用者のニーズに応じた発信体制を整備する。	△	SNSの活用	SNSの即時性と情報伝達のを生かした情報発信を進める。	△	メディア戦略の構築	庁内外の様々なメディアによる効果等を分析し、戦略的な情報発信を行う。	△	
項目	内容	評価												
インタラクティブな情報発信	博物館からの一方的な情報発信だけでなく、利用者のニーズに応じた発信体制を整備する。	△												
SNSの活用	SNSの即時性と情報伝達のを生かした情報発信を進める。	△												
メディア戦略の構築	庁内外の様々なメディアによる効果等を分析し、戦略的な情報発信を行う。	△												



主な委員意見	

(8) 文化財の管理と次世代への継承	【中期計画の進捗状況評価】	△																		
<p>【中期計画】</p> <p>(1) 収蔵品・寄託品等の管理を徹底する。</p> <p>(2) 収蔵等に必要な施設設備の改善を図る。</p> <p>(3) 収蔵品・寄託品等の現状を確認の上、管理に必要なデータ（画像データ、テキストデータ等）を蓄積して、展示・調査研究等の業務に活かし、博物館活動を充実させる。</p>																				
<p>【28年度実績】</p> <p>(1) 収集した古文書や写真について、現状記録、中性紙封筒への袋詰め、目録作成等の整理を行なった。</p> <p>(2) 収蔵品等の適切な管理と所蔵場所の確保のため、不要な資料等の廃棄及び整理を行った。</p> <p>(3) 寄贈件数 7件、寄託件数 1件、購入件数、複製製作件数はなかった。</p>																				
【評価】		△																		
【年次評価の根拠または課題】																				
■収蔵品・寄託品の適正な管理のため、定期的な点検と確認が必要である。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="121 772 416 819">項目</th> <th data-bbox="416 772 1361 819">内容</th> <th data-bbox="1361 772 1519 819">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="121 819 416 918">収蔵品・寄託品台帳の整備</td> <td data-bbox="416 819 1361 918">収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。</td> <td data-bbox="1361 819 1519 918">△</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	収蔵品・寄託品台帳の整備	収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。	△	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 772 1361 819">項目</th> <th data-bbox="416 772 1361 819">内容</th> <th data-bbox="1361 772 1519 819">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 819 1361 918">収蔵品・寄託品台帳の整備</td> <td data-bbox="416 819 1361 918">収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。</td> <td data-bbox="1361 819 1519 918">△</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	収蔵品・寄託品台帳の整備	収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。	△	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1361 772 1519 819">項目</th> <th data-bbox="1361 772 1519 819">内容</th> <th data-bbox="1361 772 1519 819">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1361 819 1519 918">収蔵品・寄託品台帳の整備</td> <td data-bbox="1361 819 1519 918">収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。</td> <td data-bbox="1361 819 1519 918">△</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	収蔵品・寄託品台帳の整備	収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。	△
項目	内容	評価																		
収蔵品・寄託品台帳の整備	収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。	△																		
項目	内容	評価																		
収蔵品・寄託品台帳の整備	収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。	△																		
項目	内容	評価																		
収蔵品・寄託品台帳の整備	収蔵品台帳と収蔵場所の確認、及び市の備品台帳との確認を行う。	△																		



主な委員意見	

(9) パークマネジメントなどへの挑戦	【中期計画の進捗状況評価】	△																		
<p>【中期計画】</p> <p>(1) 公園を活用した関係団体のイベントや利用要望に積極的に対応する。</p> <p>(2) 美しい空間演出に努め、維持管理を館員が率先してチャレンジする。</p> <p>(3) 公園管理関係課と公園の将来像やそれぞれの役割分担や連携を模索する。</p> <p>(4) 博物館が千葉県の文化の森構想に基づくエリアに立地しているが、整備が行われて50年が経過することから、今後周辺の文化会館や県立中央図書館も含めた検討が必要である。</p> <p>(5) 千葉駅周辺及び中心市街地の活性化のためのグランドデザインに基づく、博物館等の歴史・文化施設との連結強化が構想されていることから、連携を模索する。</p>																				
<p>【28年度実績】</p> <p>(1) 亥鼻公園の桜植樹基金（主管：千葉市観光協会）に協力し、郷土博物館敷地の植樹計画を進めた。</p> <p>(2) 桜まつり期間の平日の夜間開館（展望室）を行い、「博物館でお花見を」を検討した（次年度以降に実施）。</p> <p>(3) 景観に配慮し、廃棄物収容の入れ物を整理した。</p> <p>(4) 市民参画のギャラリーを開設した。</p>																				
【評価】	△																			
<p>【年次評価の根拠または課題】</p> <p>■市民利用が桜の時期に集中し、博物館利用者数にも大きく影響を与えることから、それ以外の季節でも通年で利用できるようなイベント等の企画立案が必要である。</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="124 1057 418 1111">項目</th> <th data-bbox="418 1057 1362 1111">内容</th> <th data-bbox="1362 1057 1519 1111">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="124 1111 418 1205">市民ギャラリーの開設</td> <td data-bbox="418 1111 1362 1205">博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。</td> <td data-bbox="1362 1111 1519 1205">○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	市民ギャラリーの開設	博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="418 1057 1362 1111">項目</th> <th data-bbox="418 1057 1362 1111">内容</th> <th data-bbox="418 1057 1362 1111">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="418 1111 1362 1205">市民ギャラリーの開設</td> <td data-bbox="418 1111 1362 1205">博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。</td> <td data-bbox="418 1111 1362 1205">○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	市民ギャラリーの開設	博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1362 1057 1519 1111">項目</th> <th data-bbox="1362 1057 1519 1111">内容</th> <th data-bbox="1362 1057 1519 1111">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1362 1111 1519 1205">市民ギャラリーの開設</td> <td data-bbox="1362 1111 1519 1205">博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。</td> <td data-bbox="1362 1111 1519 1205">○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	評価	市民ギャラリーの開設	博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。	○
項目	内容	評価																		
市民ギャラリーの開設	博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。	○																		
項目	内容	評価																		
市民ギャラリーの開設	博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。	○																		
項目	内容	評価																		
市民ギャラリーの開設	博物館の資産を有効に活用し、新たな利用者の発掘と施設の活性化を図るため、展望室を活用した市民ギャラリーを開設する。	○																		



主な委員意見	

(10) 研究交流の実施	【中期計画の進捗状況評価】	○						
【中期計画】 (1) 研究者を招聘し、交流を促進する。 (2) 職員を博物館・美術館等に研究交流並びに研修のため積極的に派遣する。 (3) 研究会、シンポジウムの講師に積極的に派遣する。								
【28年度実績】 (1) 市史研究会（4回）、「江戸と千葉研究会」（2回）を開催した。 (2) 佐倉市民カレッジ（佐倉市立中央公民館主催）へ講師、フォーラム「房総の牧を考える」（酒々井町教育委員会主催）へ報告者を派遣した。 (3) 千葉県史料保存活用連絡協議会の研修に職員を派遣した。								
【評価】		○						
【年次評価の根拠または課題】 学芸員の研究活動及び研修並びに今後の企画展示や教育普及事業に資するため、先進的な取り組みを実施している博物館等の積極的な派遣を検討する必要がある。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博物館等への派遣</td> <td>先進事例への取り組みや今後の調査研究に必要な他の博物館等への職員の派遣</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			項目	内容	評価	博物館等への派遣	先進事例への取り組みや今後の調査研究に必要な他の博物館等への職員の派遣	○
項目	内容	評価						
博物館等への派遣	先進事例への取り組みや今後の調査研究に必要な他の博物館等への職員の派遣	○						



主な委員意見	

(1 1) 運営の効率化	【中期計画の進捗状況評価】	△						
【中期計画】 (1) 事務の一元化を推進し事務の効率化を引き続き図る。 (2) 翌年度以降の展覧会企画等について調整を行い、企画機能強化を図る。 (3) 業務の効率的な運用及び情報の共有化を引き続き推進する。 (4) 学芸員の専門的な教授能力に対する適正な人事評価を行うことにより、千葉市の文化行政の発展に資する。								
【28年度実績】 (1) 管理業務の分散化により学芸業務の充実強化を図った。 (2) 翌年度の事業計画を早期に立案し、外部機関との調整を速やかに着手し、展覧会企画等の円滑な実施を図った。 (3) 中長期の事業計画案を策定し、計画的な企画立案と博物館の長期展望に着手した。								
【評価】		△						
【年次評価の根拠または課題】 ■学芸業務の専門性向上と効率的な博物館運営を行うために、管理業務の整理を行うとともに、嘱託職員・非常勤職員を含めた事務分担の見直しが必要である。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>次年度の事業計画の早期立案</td> <td>これまでの企画展示の内容や調査研究の結果に基づき、早期に計画を策定し、事業の進捗管理を適切に行っていく。</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>			項目	内容	評価	次年度の事業計画の早期立案	これまでの企画展示の内容や調査研究の結果に基づき、早期に計画を策定し、事業の進捗管理を適切に行っていく。	△
項目	内容	評価						
次年度の事業計画の早期立案	これまでの企画展示の内容や調査研究の結果に基づき、早期に計画を策定し、事業の進捗管理を適切に行っていく。	△						



主な委員意見	